



新春のあいさつ

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、令和8年の新春を晴れやかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。本年も、「お年寄りが安心して暮らせ、若者が夢を持てるまちづくり」を市政運営の軸として、皆様の声、地域の知恵、宿毛への愛着を原動力として、宿毛市の未来を皆様とともに形にしてまいりたいと考えております。

昨年、子どもたちに安全で温かい食事を届けるための新給食センターが完成いたしました。このことにより食育を進め、災害にも強く、そして健康を支える環境が整いました。

また、防災基盤整備の一環として消防団片島分団の新しい屯所も完成し

ました。今後も引き続き環境改善を図り、地域の防災力向上に向けた取り組みを加速してまいります。

現在、南海トラフ地震への備えとして、避難道整備や耐震化に加え被災後の宿毛の姿を事前に描く「事前復興まちづくり計画」の策定を進めています。災害からの復旧・復興の際に従来の状態に戻すのではなく、復旧前よりも災害に強く、住みやすいまちを構築する「より良い復興」という視点を持ち、市民の皆様がこの地域に住んで良かった、住み続けたいと思つていただける持続可能な宿毛市の「未来予想図」を示してまいります。

そして、昨年末より開始した「宿毛愛デ、ママサポ」をはじめとする本市

の発展においても勇気づけとなるものであり、多様性を尊重し、包容力のある社会の実現に向けて一層前進していくことを願っています。

さて、私たちが暮らす宿毛市は、豊かな自然と歴史、そして温かい人情に育まれた魅力あふれるまちです。しかしながら、人口減少や少子高齢化、地域経済の活性化、南海トラフ地震等の大規模災害への備えといった、解決すべき多くの課題にも直面しています。

宿毛市議会としましては、こうした課題に対し、市民の皆様お一人おひとりの声に真摯に耳を傾け、未来を見据えた議論を重ねてまいりました。持続可能で活力満ちた宿毛市の実現に向

きました。今後も引き続き環境改善を図り、地域の防災力向上に向けた取り組みを加速してまいります。

私は、市政は「行政が進めるもの」ではなく、「市民の皆様とともに築き出、高齢者の安心、教育や文化の振興など、これら全てが人口減少対策において大切な要素だと考えています。

本年は、全天候型の遊戯施設（仮称：子どもの国）の整備に向けた検討を進めてまいります。天候に左右されず、年間を通じてご家族が安心して利用できる施設は、子どもたちが自由に身体を動かして遊べるだけでなく、保護者の皆様の交流の場としても大きな役割を果たすものと考えております。令和9年度中の供用開始に向け、今後も取り組みを進めてまいります。

し続けられるまちづくりを目指し、全効率を取り組んでまいる所存です。

本年も市議会は、市政のチエック機能の強化はもとより、市民福祉の向上と地域社会の発展に寄与する政策提言を積極的に行つてまいります。特に地方の喫緊の課題である、人口減少・少子化対策につきましては、一昨年に「人口減少・少子化対策調査特別委員会」を設置し、議論や意見交換などを重ねてきており、本年、提言書とりまとめ、市長に提出することとしております。また、市民の皆様にとつて身近で分かりやすい「開かれた議会運営」を一層推進し、より一層の透明性と説明責任を果たしてまいります。

つきましては、今後も宿毛市議会の活動にご関心をお寄せいただき、忌憚のないご意見やご提言をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

結びに、本年が市民の皆様にとって幸多き一年となりますよう心よりお祈り申し上げますとともに、宿毛市さらなる発展のため、引き続きのご支援、ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

宿毛市長 中平 富宏

宿毛市議会議長 三木 健正